

「20年前に憧れた モンブランを普段は 胸に飾っています」

できる男ファイル③

アマゾンジャパン
ディレクター/ハードウェア事業本部 統括事業本部長

星健一さん

これまで日系メーカーや商社、米系メーカーで活躍。その間、旧ソ連、東欧、西欧、アジアなど世界各地に赴任。
'08年にアマゾンジャパンに入社。



オフィスツールで
自分らしさを発揮！

今や誰もが利用するアマゾン。その日本人で活躍する星健一さんは、社会人経験のほとんどを海外勤務で過ごした国際派だ。それと同時に、仕事で文具を含む、あらゆる製品に触れるというのだから、そのチョイスは気になるところだ。

「20代で海外駐在を始めたばかりの頃、これを胸に挿すビジネススマンがかっこよくて。その頃から使い始めて、これが5〜6代目くらいですね。」そう語る彼が見せてくれたのがモンブランのペン。約20年間愛用という点にも強いこだわりを感じるが、「字に味が出るから」とインクは必ずブルーと決めているそう。そんな星さんに、やはりオフィスツールには高級感を重視しているのかと訊ねたところ、答えはノーだった。高級感も重要だが、自分らしいものを揃え、仕事をスムーズに進めることがより大切というのが星さんの流儀。例えば、モレスキンの手帳もそのひとつ。拝見すると、なんと中の日付はアナログなスタンプなのだ。スタンプは特別に高価なものではないそうだが、手押しの印字に味があって、前述の青いインクとも実に相性がいい。そんなアナログなアイテムを用いる一方で、やはり最先端企業勤務だけあって、Kindleは手放せない存在だ。iPhoneとKindle、PCを同期させ、どんな場所でもメールやスケジュールの管理を的確に行えるようにしている。特に外出先や通勤時にはKindleが大活躍。最先端とアナログの味わい。この両極端のツールを巧みに使い分けるセンスを、我々も取り入れたいものだ。

私のこだわり仕事道具



こだわり③
卓上台&
Kindle

限られた卓上を
有効に使い
仕事を効率化

上◇キングジムのデスクボードを使い、キーボード上のスペースも有効活用。右◇仕事上、アマゾンのサイトチェック、スケジュール管理、メールチェックとKindleは手放せないアイテム。



こだわり②
ペン&手帳

シャツの胸が
モンブランの
定位置

最初のモンブランは社会人になったばかりのときのモスクワ駐在で購入。常にシャツの胸ポケットに挿し、お洒落小物としても活用。手帳は質感が好みというアマゾンで購入のモレスキンを愛用。



こだわり①
スタンプ

日付スタンプを押すのが
この数年は日課となっている

手帳は、線だけのものに日付を毎日手押し。これは効率を追求した結果、行きついた結論だ。さらにメモ書きは仕事用、私用など、異なる色の付箋で分類し、より見やすく工夫している。